

## 第4回 FIA 技術講習会を受講して (II)

(株) ノリタケカンパニーリミテド  
猿木友理恵

7月末、愛知工業大学で行われた第4回 FIA 技術講習会を受講しました。FIA の大きな特長は、迅速・簡便という程度の知識は持っており、その特長を生かし、当社の工場でも実際に FIA を利用して、廃液中のリン酸・硝酸濃度分析を行っている状況ではありました。私自身もこの装置を組み上げた経験はあるものの、実際に自分の手で動かした期間は短く初心者に近いので、FIA について詳しく知る良い機会だと思い、この講習会に参加しました。

講習は、講義と実習の2つから構成されており、まずは午前中の講義で FIA の基本的な知識を得ることができました。先生方から、原理や実際の分析、公定法について、わかりやすく説明していただき、今まで漠然としか理解していなかった点を、明確にすることができ、大変参考になりました。

午後からは実習となり、実際に装置を動かしながら FIA についてさらに理解を深めることができました。例えば、コイル長や流速が分析値にどう影響するかについての実験を行うことで、午前中に聴講した FIA の基礎をあらためて理解し、目で見える結果に実感として捉えることができました。不慣れなため、うっかり気泡を入れてしまったりもしましたが、そのような日ごろ起こしやすいトラブルの対処法についても、先生方から親切に教えていただき、大変実用的な講習であったと思います。装置は、ほぼ1日にわたる長時間の稼動にもかかわらず、廃液量は大変少なく、環境に優しい分析法であること、また、終始安定したベースラインを保ち、高精度で非常に安定した分析であることを目の

当たりにし、あらためて FIA の優れた特長を実感しました。午前中は皆さんもやや緊張した雰囲気でしたが、私自身、午後の実習では先生方とも参加者の皆さんとも話す機会が増え、とても楽しく講習を受けることができました。和やかな雰囲気の中、最後は参加者の皆さんも活発に質問し、多くのことを学ぶ良い機会となりました。

夕刻からの懇親会では、さらに多くの方とお話しすることができ、参加者の皆さんの現状や問題点についてもよくわかり、同様の問題を抱えていると言うことに少し安心するとともに、私たちの業務の参考にもなりました。大変有意義な1日を過ごすことができ、本当に参加してよかったと感じています。

FIA の優れた特長を生かし、当社のバッチ法による分析も FIA 化していきたいと考えています。確かに、FIA のシステムを組み上げれば、簡便で迅速な分析が可能であることは充分理解できましたが、このシステムを実際に自分で組むにはかなりの知識が必要であることもよくわかりました。さらに FIA についての知識を得るためにも、今後もこのような技術講習会が開催されることを期待しています。

